



Vol.31  
2014年5月号

お待たせしました  
だいどこ  
台所通信

この頃思いつ事

川のほとりに住む。

この状態は「水」に縁のある私達にとってすごく当たり前の事だったのかもかもしれないと思う。

何故って？私旧姓は「皆川」。今は「湯浅」。生まれは「雄物川町」。

夫は「塩川町」。お互いの生まれた近くにはそれぞれ雄物川と大川があって、阿武隈川の源流の里に30年暮らし今は白河の谷津田川のほとりに暮らす。。。ね？そうでしょう？なんて川に御縁が、、、いえ「水」に御縁があるのでしょいか？そして綺麗な川の水の源流の大元にはそれぞれ「鳥海山」と「磐梯山」や「飯豊山」があるのです。そして、今は拠点にと考えている所には那須山があります。

山と川どちらかと言えば海よりは川に御縁があるようです。

だから何故か川のほとりを選んでしまいます。

美味しい「水」は生命の起源ですから。。。。

小耳な は・な・し

新会社を考えましょう



ドイツが発祥の地となった「クラインガルテン」の考え方十空き家、空き、地の再利用+「コワーキングスペース」の提供を同時にする。

今、日本でも各地の田舎に広まりつつある人気の「クラインガルテン」と、交通便利な市街地に増加中の「コワーキングスペース」(共同事務所)を合体したような場所をサービスするビジネスがあったらおもしろいと思いませんか？

(イラストは福島県下郷町にあるクラインガルテン)

空き家、空き店舗、廃校、空き、地、耕作放棄地、管理放棄山林などを多く見かけるようになった今日のこのころですが、考えてみれば、それらはみんな先人が残してくれた宝です。それをちゃんと生かし、時代にマッチした仕組みや付加価値をつけて再利用できたらいいですね。

この考え方に基づき、新会社(仮称チャスル)の立ち上げを構想中です。興味がお有りでしたら、あなたの「意見を聞かせてください」。



# 関心事 二十四節「清明」

万物発して清明明潔なれば 此芽は何の草としれるなり(ものかくつきりみえるので、芽吹いた草がなんの草かわかる) すべてのものが明るく清らかで 生命が輝く季節

今年はいじめての虹が現れるのもこの頃だそうです。

ー以上 ーもっと知りたい美しい季節の言葉ー 浦川聡子 文より



確かに庭の表情を見ていると

日に日に芽吹き、そして青々してくる。

この芽吹きは何なのか段々にかわってくる。

でもこの初めての春の庭には様々な山野草や植物が芽吹き、

かなり面白い！

かなりの老木の紅梅がすごい！

そしてハクモクレンが綺麗だ。(紫のモクレンも咲き始め

ました)

そして三種類ある椿。

そして春一番に咲いたクリスマスローズはまだまだ咲いている。(4月下旬ではもうそろそろ終わりに近いようです)

## カイチャオ・・・タイの基本の卵焼き

(カイ・卵) 卵にナンパラーなどで少し味をつけたものを温めた多めの油へ投入す ると周りはカリカリ、

中はフワフワのベッタン

コなオムレツの出来上

がり。

(以上 文、写真共に

参考資料より)

### 〈今日は嫁の料理〉

沢庵入り卵料理(タイ風卵焼き・・・カイ・カオ・チャオ)

(材料) 沢庵、万能木杓、卵、パクチー、ナンパラー

(作り方)

1. 万能木杓は2〜3センチの長さ切る。

2. パウに卵を割り入れナンパラーを加えてよく溶き、沢

あん、万能木杓を加えて混ぜる。

3. フライパンを強火で熱した。卵りの油を入れ煙が出て

来たら中火にして卵液を入れ両面を焼く。

4. お好みでチリソースやケチャップ、スイートチリソースなどを添える。

